

[6636/5A-135-001]

Ver.15

検査中止項目

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5A.免疫グロブリン&gt;&gt;5A135 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

## 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

immunoelectrophoresis(identification with anti-human whole serum)

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6636

001

受託終了

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

01 C6

凝固促進剤+血清分離剤(ピンク)

採取材料

血液

採取量

6 mL

遠心分離

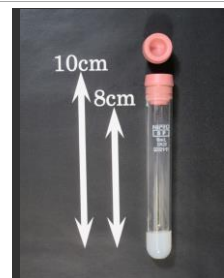
遠心

測定材料

血清

測定必要量

0.5 mL



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

[6636/5A-135-001]

Ver.15

検査中止項目

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5A.免疫グロブリン&gt;&gt;5A135 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

## 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

immunoelectrophoresis(identification with anti-human whole serum)

連絡先 3764

## 採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵					

## 受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

## 検査に要する時間(生理検査)

## 再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）<br />  
（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

## 検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器	&nbsp;
検査所要日数	4～7日
検査部門・委託先	外部委託（LSIメディエンス）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	

## 検査結果報告について

## 基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	抗ヒト全血清による免疫電気泳動

## 生物学的基準範囲

	男性	女性	単位

[6636/5A-135-001]

Ver.15

検査中止項目

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5A.免疫グロブリン&gt;&gt;5A135 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

## 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

immunoelectrophoresis(identification with anti-human whole serum)

連絡先 3764

00	免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同	***	***	(単位なし)
----	-------------------	-----	-----	--------

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

免疫電気泳動は蛋白分画では分離できない微量蛋白成分を抗原抗体反応との組合せにより、血漿蛋白の半定量的な同定を行う検査法である。電気泳動によって分離した後に、寒天ゲル内で抗ヒト全血清や特異抗血清と反応させる。抗原抗体反応により沈降線が形成され、その沈降線などから病態解析を行う。蛋白成分は様々な病気において質的あるいは量的に変動をきたすので、それらの成分を分析することで疾患の診断や病態把握に有用である。

異常値を示す病態・疾患

上昇する疾患(免疫グロブリンの増加する疾患)-(1)単クローン性の増加<br /> 良性M蛋白血症, 原発性マクログロブリン血症, 多発性骨髄腫<br />上昇する疾患(免疫グロブリンの増加する疾患)-(2)多クローン性の増加<br /> リンパ増殖性疾患, 慢性感染症, 悪性腫瘍<br />減少する疾患(免疫グロブリンの減少する疾患)<br /> (3)体外への漏出, ネフローゼ症候群等, (2)二次性免疫不全症, (1)原発性免疫不全症

参考文献

エスアールエル 検査要項

大谷英樹他: 日常検査法シリーズ11免疫電気泳動2版8~26 1977

松田重三: タンパク分画と免疫電気泳動像 (医歯薬出版)8~21 1979

JLAC10

分析物	5A135	免疫電気泳動(抗ヒト全血清)
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	081	免疫電気泳動法(Grabar-Williams免疫電気泳動法)

変更履歴

[6636/5A-135-001]

Ver.15

検査中止項目

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5A.免疫グロブリン&gt;&gt;5A135 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

## 免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)

immunoelectrophoresis(identification with anti-human whole serum)

連絡先 3764

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 報告日数変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([2mL]⇒[3mL])
5	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
6	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
7	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
8	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更
9	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
10	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
11	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
12	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
13	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
14	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定
15	2025/04/24	2025/04/01～	検査中止